## <u>テセントリク+アブラキサン療法(Day1,15)【60分】</u>

【外科】206-1,15【乳癌】

■エンボス

(第 コース目)

\*網かけ部分は必須記入事項

| 診療科: | 病棟: |
|------|-----|
| 医師名: | 印   |

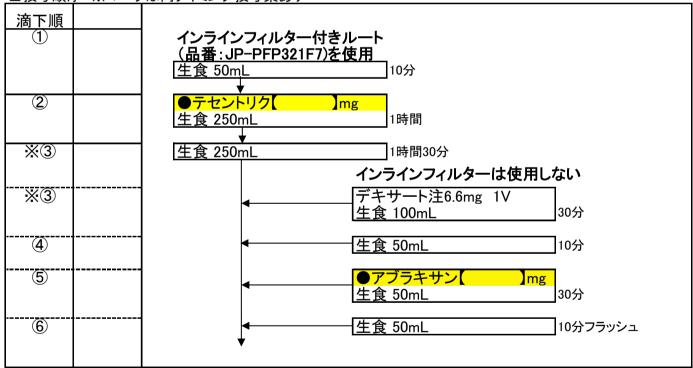
 身長:
 cm
 体重:
 kg

 体表面積:
 m³
 Cr:
 mg/dL

 Day
 1
 8
 15
 22
 ~28

 施行日
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり



| ■投与量   | ※投与量の参考                      |    |
|--------|------------------------------|----|
| 薬剤名    | 標準投与量                        |    |
| テセントリク | 840mg/body                   |    |
| アブラキサン | 100 mg/m <sup>2</sup> mg/Boo | ly |

| 入<br>薬剤 | .力<br>削師 | 看護師 | 看護師 |
|---------|----------|-----|-----|
|         |          |     |     |

## ■注意·確認事項

- ○主管点滴ルートは、インラインフィルター付きルート(**品番:JP-PFP321F7**)を使用すること。 側管投与の薬剤はインラインフィルター下部のコネクターに接続して投与すること。
- 〇テセントリクは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。
- ○テセントリクの血管外漏出時は、非炎症性抗がん剤としてマニュアルに沿った対応をすること。
- 〇アブラキサンは特定生物由来製剤(人血清アルブミン含有)の為、「血漿分画製剤の使用に関する同意書」を取得すること。また、投与終了後は「特定生物由来薬品実施確認表」を薬剤部へ返却すること(20年保管)。
- OPD-L1陽性のTripleNegative乳癌に対して適応あり。